

第19区(朝日～白鷹)を力走する長岡輝喜選手(左)と
給水に駆け寄る清野正利マネージャー

第51回山形県縦断駅伝競走大会
(4月28日：朝日町大滝地内)

特集／今こそ若者会！

町政スポット／春の消防演習 区長さん紹介 庁舎1階日表室が一部設置替え

総務大臣表彰 厚生労働大臣表彰 ほか

まちな話／第51回山形県縦断駅伝競走大会 平成17年成人式

町フォトコンテスト表彰式 ほか

広報

あさひまち

2005年5月号
No. 582



特集●今こそ 若妻会！

活かしたい… 活気ある町づくりに女性の声を！

女性の意見をいかにして町政に取り入れていくか。鈴木町長が掲げる政策の一つ、それが「女性井戸端会議」の開催です。なぜに今、女性なのか。それは、町政運営も一企業という立場で考えた時、よりグローバル（世界的規模）な視野に立った物事の見方や考え方が要求される時代だからです。

しかし、そのような考え方に、そこに住む地域社会や風習、風土などによって、人それぞれに違いが生じてきます。そこで、いろいろな視点に立った人の考えを町政運営に取り入れていくための一つの手段として、これまでなかなか生かしてくること

女性の声に耳を傾けてみよう

活気ある町づくりの源は活気ある地域づくりから…。

その地域を、これまで活力ある元気な姿に変えてきたのが、自治公民館活動を始めとする地区の行事など。そして、それらの活動を底辺から支えてきたのが、婦人会や若妻会による女性の力です。地域住民にも支持された団体として、その地域の活性化のために中心的な役割を果たしてきました。

しかし、社会構造の複雑な変化に伴い、ここ数年の間に地域の中で何らかの役割を果たしてきた婦人会や若妻会の組織形態が、大きく変化してきています。

今回の特集では、現存する若妻会の現状や課題に焦点を置き、若妻会の今後の活動内容のあり方や組織のあり方などについて考えます。

(表1) 朝日町における主な各種委員会等への女性の登用状況

◇平成17年3月31日現在

委員会等の名称	委員総数 (人)	うち女性 (人)	女性登用率 (%)
町議会	16	0	0.0
教育委員会	5	1	20.0
選挙管理委員会	4	1	25.0
農業委員会	16	0	0.0
人権擁護委員	4	3	75.0
行財政改革懇談会	10	3	30.0
明るい選挙推進協議会	15	8	53.3
広報委員会	20	10	50.0
振興対策審議会	14	4	28.6
アイジー基金運営委員会	6	2	33.3
志藤六郎村おこし基金運営委員会	8	2	25.0
固定資産評価審査委員会	3	1	33.3
都市計画審議会	10	0	0.0
民生児童委員協議会	37	18	48.6
国民健康保険運営協議会	9	1	11.1
民生児童委員推薦会	7	3	42.9
ふれあい福祉基金審査会	8	2	25.0
交通安全推進協議会	33	7	21.2
町経営生産推進会議	17	3	17.6
社会教育委員会	7	2	28.6
文化財保護委員会	5	0	0.0
図書館協議会	5	4	80.0
生涯学習推進協議会	13	2	15.4
中部公民館運営審議会	5	2	40.0
西部公民館運営審議会	5	2	40.0
北部公民館運営審議会	5	2	40.0
町体育指導員会	10	3	30.0
合 計	297	86	29.0

※ 女性が半数以上を占める委員会

※ 町の行財政改革大綱では、目標値を25%以上としています。

ないのが現実です。

表1は、各種審議会や会議などの委員に、どれくらいの割合で女性が登用されているのかをまとめたものですが、これを見ても分かるように、まだまだ男性が主になっている委員会がほとんどです。会議に参加はしていても、圧倒的に多い男性の中では発言しにくいという状況も理解できます。発言できたとしても、数的な論理で男性の意見に押しつぶされることが、これまで平常のごとく繰り返されて

きたケースが多かったのではないのでしょうか。これでは、女性

の声が行政に反映されないのも無理はありません。

女性の輝きは地域のバロメーター

しかし、女性が中心となって活動する場が、これまで全くなかったというわけではありません。地域で活動を展開してきた婦人会や若妻会の存在です。活力ある元気な地域づくりに寄与してきた自治公民館活動。地域によって取り組みは様々ですが、地域の特色を活かした活動で区

女性元気で活発に活動しているところは、その地域も元気で活発であることは誰もが認めるところです。女性の輝きは、活力ある地域のバロメーターとも言えるかもしれません。

ところが数年前から、この婦人会や若妻会に大きな変化が生じています。特に、若妻会の衰退が顕著に見られるのです(図1)。

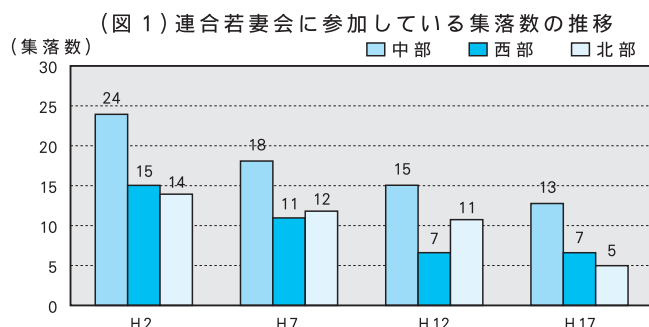
現在、町内には十九の若妻会支部(▼中部地区九支部(「小原・宿・沼向・大隅」で二支部、「松原・宇津野」で一支部、他の七支部(助ノ巻・西町・本町・大町・元町・前田沢・古槇)は単一の区でそれぞれ一支部を形成)▼西部地区五支部(「太郎一〇三」で一支部、他の四支部(松程・常盤・夏草・ハツ沼)は単一の区でそれぞれ一支部を形成)▼北部地区五支部(大谷一・大谷三・大谷五・中沢・栗木沢)があり、会員一人ひとりの資質の向上と心豊かな地域づくりをめざし、それぞれの団体が活動しています。町内には五十五(中部地区二十五区・

町づくりに欠かせない若妻会が衰退?

町としてはこのことを、憂慮すべき事態と捉えています。こ

れまで長年の間に先輩方が築いてこられた組織であり、町民か

さらに、現在活動している十九支部の中でも、新しい会員が増えないなどの理由から、会の存続が難しくなっているところがあるといふのです。



※複数の集落で1支部を組織している場合があるので、支部数＝集落数とはならない。

らも支持されている団体です。町民から支持されているということは、地域社会に対するそれなりの働きや貢献があった証であり、有効な力を持つているのです。

そういったことから、町づくりににおいて婦人会や若妻会は欠かせないので重要な団体なのです。それがなくなるといことは、その地域がなくなることと同じくらい、いや、それ以上の痛手を被ると言っても過言ではありません。

また、①豊かな人生をおくるために学び続ける②互いに親睦を深め合い、明るく住みよい地域づくりをめざす③明るい家庭づくりと青少年の健全育成④健康づくりと環境衛生の向上、その継続実践⑤高齢化社会への対応として愛の奉仕活動。これら五つの具体的な活動目標を見ても、このように幅が広く奥の深い活動を展開している団体は、他にありません。婦人会、若妻会というしっかりした組織だからこそ、これらの目標が達成可能なのです。

全国的な流れがどうであれ、あえてこれに立ち向かう勇氣やエネルギーを、町民の方々に持っていたいただきたいのです。逆に、小さい町だからこそ、生き生き

とした組織でまとまりのある活動が展開できるのではないでしょう。この町から全国に発信していくくらいの意気込みが、これから必要とされるのです。

ぱれつとすつべ 若妻会

さて、昨年暮れのことになりましたが、連合若妻会の役員による研修の場で「若妻会の存続」について検討がなされました。存続の危機に直面していることを危惧し、これからの若妻会のあり方、会存続の意味、存続の有無等々についてまで、真剣に話し合いを持ったようです。

具体的には、①若妻会（婦人会）の良いところ、好きなところ、②若妻会（婦人会）の悪いところ、いやなところ③会としてあればいいなと思うこと、またはやってみたいこと、以上の三点について話し合われました。次に挙げるのはその内容の一部ですが、これらが必ずしも正しいこととは言えません。あくまで、こんな見方や考え方もあるという認識で捉えてください。その上で、改善すべき点は改善する。内容によつては、関係する団体の中で話し合う場を設けてなどいただければと思います。

①若妻会（婦人会）の良いところ、好きなところ

「情報を得る場」

- ・子育てに関する悩みを、解決するためのヒントが得られる。
- ・学校や保育園、地区の情報が得られる。

- ・他地区の人の考え方などが、活動をとおして分かる。

「癒しの場」

- ・お互いに本音で話し合える。
- ・ストレッチが軽減する。
- ・好きなお酒が公的に飲める。
- ・花見や芋煮会など楽しい行事がたくさんある。

「自己啓発の場」

- ・郷土料理を教えてもらえる。
- ・講演会などは勉強になる。良い話を聞けば得した気分。
- ・芸術や文化に触れるチャンスがある。

「輪を広げる場」

- ・近い年齢の人といろいろな話ができる。
- ・普段なかなか会えない近所のメンバーとも話ができる。
- ・年代に違いがあっても、なんとなく一つになれる。
- ・年上の人と友だちになれる。
- ・知らない人とも簡単に仲良くなれる。
- ・婦人会の人たちにも顔を知られ、町で会ったときなどは声を掛けてもらえる。

若妻会はチームワークがきめて

ハッ沼若妻会支部長 鈴木 順子



1. いつも明るく元気
2. いつも笑いが絶えない
3. 酒は飲んでも飲まれたい

これが、ハッ沼若妻会のモットーです。昨年の家庭婦人バレーボール大会では、当日になってやっと全員が集合したにも関わらず、見事優勝。とにかくチームワークの良さは抜群です。

私は入会して4年ですが、今年度、役の順番が回ってきてしまいました。子どもが小さかったり仕事等の関係で行事に参加できないことも多く、迷惑をかけずにやっていく自信がありませんでした。

でも、「大丈夫、ひとりで頑張んねたて。みんなで助けてあげっから」とみんなから励まされ、とても嬉しく思いました。「私のような町外から嫁いで来た者に対しても温かく受け入れてくれる」。楽しくお付き合いをさせてもらっているの、区の行事やお祭りの手伝いなどにも気兼ねなく参加できています。これは若妻会に入会していたからこそと思っています。

ところが最近、会員数の減少という問題が出てきました。来年度からは急激に減る予定で、会の運営も厳しい状況になりそうです。集まるたびに話題になるのですが、結局のところ、お嫁さんが来てくれないことには始まりません。どうか、ハッ沼のお兄ちゃんたちにも頑張ってもらいたいです。

②若妻会（婦人会）の悪いところ、いやなところ

「役員としての重荷」

- ・役員というだけで、気持ちの負担が大きい。
- ・会員数の減少で三役に当たる割合が高い。
- ・集まりが多い。
- ・会合に参加するために、家族のみんなにお願いしなければならぬ。

「婦人会との関わり」

- ・婦人会の中の若妻会という感じなので、独自の活動がなかなかできない。
- ・出席人数のノルマを課せられ

ならない。

- ・人任せ体質などところがある。
- ・入会を勧めても、興味すら示そうとしない人がたくさんいる（無関心）。

活かしたい… 活気ある町づくりに女性の声を！

ることがある。

- ・婦人会という組織があまりにも大きすぎて、圧迫感を感じる。

- ・若妻会を辞めるとすぐ婦人会という仕組みも腑に落ちない。

- ・婦人会はあまりにも年代の差（三十代～七十歳）がありすぎて、入りにくい気がする。

「その他」

- ・会の目的がわかりにくい。
- ・昔の個人の失敗をいつまでも話す。

- ・負の噂話が好きで話題にする。
- ・中、西、北部それぞれの地区で行事がないのなら、各地区婦人会に加盟している意味がない。支部のみの活動に限定できれば…。

③会としてあればいいなと思うこと、またはやってみたいこと

- ・婦人会とのつながりがあまりないので、何か共通なものを見出せないか。
- ・一緒に何かを作ったり話を聞いたりする場があってもいい。

具体例として…

- ・バレーボールの人数を集めるのに苦労している地区が多くなっているのを、それに代わるスポーツを町全体でするのもいい。例えば、ビーチバレーなど。

- ・自分を高める勉強も大切なことと理解できるが、例えば季節にあつた料理教室など、楽しめるものがあってもいい。
- ・会の催しがある時は、必ず子どもを預けることができる仕組みを確立させる。
- ・親子で参加できるもの。
- ・若妻会向けの夜の教室など。

婦人会も若妻会も今が意識改革の時

様々な課題を抱えてはいるものの、現存する各支部の若妻会は、まんざら捨てたものではないことがご理解いただけるでしょう。情報を得る場、癒しの場、自己啓発の場、輪を広げる場、それぞれの立場で若妻会の活動を楽しんでいることが分かります。現代の女性らしい新しい感覚での捉え方であり、真つ向から否定できるものは一つもありません。

しかし、改善を要するものは改善していかなければ、若妻会は衰退の一途をたどることになるかもしれません。

役員としての負担が重すぎるという指摘。何かと言えば婦人会や若妻会の役員にお願いしてしまう体質を、町としても改める必要があります。

婦人会にも理解を求めたい事項があるようです。移りゆく時代の変化に伴い、それぞれの持つ目的も変化しています。「これまでではこうだった」という理

でもを預けることができる仕組みを確立させる。

・親子で参加できるもの。

・若妻会向けの夜の教室など。

論は通用しないことが、多々あることを理解する姿勢も必要でしょう。そして、時には、若妻会を独自の組織として認めていくことも、必要なことなのかもしれません。

結婚後、これまでとは生活環境が全く異なる土地に移り住むことへの不安感。まずは、地域の人を知りその土地に馴染むこと。そのためにコミュニケーションの場が求められ、各地域に波及していった。そんな経緯と背景が若妻会にはあるはず。そういった本来の目的が、時の経過と共に忘れ去られてしまったのではないのでしょうか。

活動目的をはっきりさせることが、今の若妻会には必要です。そうすれば、より達成感が得られる活動となり、次へのステップにもつながります。

また、若妻会の衰退は、近い将来、婦人会の衰退にもつながりかねないということを、認識しておかなければなりません。

婦人会も若妻会も、会のあり方等について見直さなければならぬときに直面しているのではないのでしょうか。

新しい会員が見込めないという厳しい状況下ではありますが、若妻会という組織があればこそ「公的な場」において「公的な立場」で、一つの貴重な意見を述べる機会もあるのです。その貴重な場を失う方向に、あえて進むことのないよう強く望みます。解散することは簡単なこと。しかし、改めて立ち上げるのは決して容易なことではありません。

この町は、みなさんの活躍に大いに期待を寄せています。若妻会を維持していくには、当該若妻会のみならず、婦人会を始めとする関係各位の理解と協力が必要不可欠です。地域の活性化、町の活性化のために、若妻会の今後を温かく見守っていただくではありませんか。



平成17年度 春季消防演習

町民の生命と財産は
私たち消防団員が守ります！

平成十七年度の春季消防演習が四月二十四日、朝日中学校グラウンドを主会場に開催されました。日頃の訓練の成果を披露することで、地域住民の方々に安心した日々の生活を送っていただくようと、毎年恒例となつてゐる消防の祭典です。

三百七十七人の団員を前に柴田団長が「日頃から我々消防団に寄せる住民の期待は大きい。最後まで気を抜くことなく、機敏で統制力のある訓練を町民の方々に見せていただきたい」と訓示。その後、一糸乱れぬ小隊訓練や、積載車、可搬ポンプ、自動車ポンプによる模範操作法が披露されました。

実火災を想定しての火災防御訓練では、火災を告げる午後二時四十分のサイレンの音と同時に、町内の全車両隊が出動。一斉に放水が始まると、沿道に詰めかけた町民からは、盛んに声援が送られていました。

なお、各表彰者は次のとおりです（敬称略）。

消防庁長官表彰

▼永年勤続功労章

白田敏男（大谷四）

山形県知事表彰

▼金条章 第三分団第三部（中沢・真中・舟渡）

特別功労章 長岡秀昭（前田沢）／小松正明（大暮山）

▼功労章 吉田好伸（本町）／長岡信俊（太郎二）／阿部俊幸（立木）／村山文也（常盤）

▼功績章 成原広昭（前田沢）／鈴木孝幸（沼向）／安藤克

朝日町長表彰

▼優良消防部第一位

第一分団第三部（和合）

日本消防協会長表彰

▼精績章 長岡伸幸（太郎二）

平成十七年度体制

団長

柴田 七郎兵衛（大町）

副団長

白田 敏男（大谷四）

本部付分団長

松尾 芳明（松原）

鈴木 義昭（大暮山）

高橋 久仁彦（大町）

長岡 伸幸（太郎二）

高坂 秀幸（大町）

長岡 秀昭（前田沢）

浅岡 清郎（西町）

長岡 秀典（栄町）

吉田 好伸（本町）

成原 広昭（前田沢）

大竹 史之（大隅）

相座 正行（送橋）

安藤 克幸（松原）

佐竹 亮一（松程）

阿部 富士男（八ッ沼）

長岡 和彦（太郎二）

阿部 孝晴（松程）

阿部 信治（八ッ沼）

阿部 秀紀（常盤）

白田 淳一（大谷三）

小林 晴雄（大沼）

長岡 啓一（大谷一）

白田 幸男（大沼）

鈴木 正弘（中沢）

白田 努（栗木沢）

役場消防部長 畑 英俊（大谷二）

広報あさひまち 5月号

6

住民と行政をつなぐパイプ役

平成十七年度町区長会春季定例会開催

町内全五十五集落の区長さん方が一堂に会しての春季区長会定例会が四月二十八日、開発センターホールで開催されました。その中で、役職の任期（平成十六年四月一日〜平成十八年三月三十一日）を残して退職され

た白田芳美さん（大谷三）に代わり、この四月に北部地区区長会長に就任した阿部秋治さん（大谷六）が副会長の職に、また、新たに四人の評議員が、事前に開催された評議員会の中で決定された旨の報告がなされま

した。さらに、副会長に就任した阿部秋治さんに代わり、渋谷一俊さん（大暮山）が監事として選出されました。

この三月末日をもって退職された八人の方には、町から感謝状が贈られました。

表彰されたみなさんは、次の方々です（敬称略）。

●感謝状贈呈者

清野 和夫（古 楨・二年）
佐竹 佐市（白 倉・四年）
白田 芳美（大谷三・四年）
鈴木 八男（大谷四・二年）
堀 勇（中 沢・二年）
遠藤 慧（真 中・二年）
小林 昇（大 沼・四年）
志藤 勝利（川 通・六ヵ月）

平成17年度 各区の区長さん紹介

■中部地区【25区】

区名	氏 名	世帯数
本 町	鈴木 敬二	87
西 町	阿部 勝男	115
栄 町	多田 賢司	66
助ノ巻	鈴木 俊一	54
大 町	布施 寛	148
元 町	清野 武夫	64
西 原	阿部 今朝夫	25
前田沢	渡辺 隆生	67
新 宿	熊谷 長一	55
四ノ沢	伊藤 丈雄	60
小 原	鈴木 孝義	42
宿	白田 誠一	37
沼 向	菅井 栄治	56
平	鈴木 博	16
大 隅	大竹 孝男	32
古 楨	渡辺 定雄	28
送 橋	海野 和博	36
下芦沢	岡崎 源吉	28
水 本	高橋 由八	25
杉 山	鈴木 昭一	30
松 原	井沢 弘	37
宇津野	安藤 俊蔵	42
大 滝	柴田 秀紀	24
雪 谷	鈴木 喜美夫	14
緑 町	渡辺 秀雄	41

■西部地区【16区】

区名	氏 名	世帯数
常 盤	長岡 米吉	104
夏 草	齋藤 利八	55
長 沼	阿部 悟	19
西船渡	海野 正基	48
八ツ沼	佐竹 正二	45

能 中	渡辺	栄治	39
高 田	佐竹	庄吉	15
太郎一	長岡	孝 壽	55
太郎二	長岡	稔	40
太郎三	大井	忠 夫	25
石須部	長岡	誠雄	13
立 木	松田	鈴雄	40
白 倉	渡辺	友吉	12
松 程	鈴木	正己	106
大船木	佐藤	峯 男	24
今 平	鈴木	今 治	15

■北部地区【14区】

区名	氏 名	世帯数
大谷一	長岡 秀一	36
大谷二	畑 俊美	38
大谷三	川村 直美	39
大谷四	佐藤 國雄	31
大谷五	白田 忠夫	80
大谷六	阿部 秋治	45
大谷七	小野 恒雄	13
中 沢	堀 義雄	40
真 中	堀 治郎吉	41
舟 渡	遠藤 邦昭	29
栗木沢	志藤 正雄	88
川 通	志藤 一夫	18
大暮山	渋谷 一俊	38
大 沼	小林 直廣	33

（敬称略）

※ゴシック体は新しい区長さん

※世帯数は、平成17年5月1日現在のその区内に存する法人や会社等を含む数であり、お知らせ板等の通常の発送数です。

朝日町スポーツ振興基金

平成十六年度は、予算額百四十一万円（資本金三千二百五十万円）で運用させていただきました。例年、全国や東北大会に出場する団体や個人が増えてきているので、競技力の向上が確実に図られてきているものと、関係者一同心から喜んでいますが、主な活用は次のとおりですが、平成十七年度も競技スポーツ選手の育成強化などで基金の運用を図っていきます。

なお、全国並びに東北大会出場激励金については、大会出場が決定次第、すみやかに町教育委員会教育文化課生涯学習係（☎6712118）までお知らせください。出場者本人の申し出が困難な場合は、関係者や関係団体のご協力をお願いいたします。

【平成十六年度の主な運用実績】

- 町体育協会事業運営委託料 ……六十二万円
- 町民駅伝競走大会出場報償 ……三十二万五千元
- 全国・東北大会出場激励金（4団体20個人） ……四十四万五千元



協働作業で蘇った豊龍の丘の桜がライトアップ

昨年の9月に、広報あさひまち「協働のまちづくり活動～朝日分校跡地利用を考えるⅡ～」で紹介した豊龍の丘の公園整備が進んでいます。

学び舎が建っていた場所と校庭部分について、昨年中に第一段階の工事が完成しました。雪解けとともにその姿が明らかになってきました。

豊龍の丘は昔から桜の名所。公園内にあるオオヤマ桜やソメイヨシノも、間伐による手当での効果があり元気を取り戻したようです。

そんな中、4月22日から5月8日までの17日間、地元住民の協力によって「桜のライトアップ」が

行われました。26日には、これまで整備に関わってきた住民ら約60人が公園内に集い、開園式を祝ったあとお花見を実施。これまでの経過を振り返りながら、心ゆくまで懇親を深め合いました。

みなさんの思いが寄せられ、今後は未整備部分の工事が進んでいきます。地元住民と役場で構成する「豊龍の丘整備推進協議会（多田賢司会長）」が中心となり、昨年のワークショップや芝張り作業と同様、実施計画の段階から住民参加による作業が進んでいきます。より広い住民のみなさんからのご協力をお願いします。



庁舎1階の町長室が一部配置替えされました

「町民のみなさんに、できるだけ近いところで政をしたい！」という、町長のかねてからの熱い思いが実現しました。

これまでは、収入役室を町長室として活用していましたが、連休を利用し改装工事が急ピッチで進められ、5月2日より、庁舎1階の町長室、収入役室の一部配置替えを行っています。

「諸会議や出張等で、なかなか席に着いている時間が少ないかもしれませんが、カウンター越しに気軽に声を掛けてください」と語る鈴木町長です。

合併浄化槽設置を支援します！

平成12年度からの昨年度までの5年間、奨励期間として設置を促してきた合併浄化槽による生活排水等の水処理対策。住民のみなさんのご理解や当該期間内の奨励制度の効果もあり、これまで1,042基の浄化槽が設置されました。うち奨励期間内の設置は443基で、総設置数の42.5%を占めます。その結果、平成17年3月末日現在での町全体の水処理率は59.3%となりました。

なお、平成17年度以降についても新たな推進策を設け、住民のみなさんに設置を呼びかけていくことにしています。

役場建設水道課 ☎ 67-2115

1. 設置補助金(H17から3年間)

- ・ 5人槽 550,000円
- ・ 7人槽 680,000円
- ・ 10人槽 950,000円
- ・ 11～20人槽 1,044,000円
- ・ 21～30人槽 1,752,000円
- ・ 31～50人槽 2,340,000円
- ・ 51人槽以上 2,670,000円

2. 合併浄化槽切替補助金

(単独処理→合併処理)

1基当たり50,000円を加算

3. 放流ポンプ槽設置補助金

補助金額は基準額の5分の4

5. 奨励金(従来の制度は廃止)

若者定住奨励金 50,000円

※条件 夫婦の双方が40歳未満、または18歳以下の扶養者が1名以上の世帯。

6. 利子補給(H17から3年間)

1世帯100万円まで、償還期間60ヵ月以内の融資に係る3%までの利子を町が負担。

7. 放流管原材料支給

(H17から3年間)

放流管(口径100mm、塩ビ薄肉管)が10mを超えた部分に、原材料費を支給。



佐々木所長から感謝状の伝達を受ける榊寿太さん(左)

榊寿太さん(大谷一)に総務大臣から感謝状

住民と行政のパイプ役として長年「行政相談員」を務め、この3月末日をもって退任なされた榊寿太さん(大谷一)に、このたび総務大臣から感謝状が贈られました。4月15日に役場町長室で行われた伝達式には、山形行政評価事務所の佐々木保夫所長が来庁。これまでの功績に感謝の意を表しながら、榊さんに感謝状を手渡しました。

榊さんは、昭和56年4月から24年間の長きに渡り、行政経験を生かした「行政相談員」を務めてきたほか、平成9年からは山形行政相談委員協議会の会長の要職に就かれてきました。

榊さんは「町民に迅速な対応と支援ができるよう努めてきました」と、これまでの活動を振り返っていました。

新しい行政相談員に 阿部健一氏(常盤)

このたび、4月1日付けで総務大臣から阿部健一さん(常盤)が朝日町担当の行政相談委員に委嘱されました。



行政相談委員は、行政機関や特殊法人等の業務など、いわゆる役所の業務に対する苦情や要望、意見等の相談を町民のみなさんから受け付け、相手機関との間に立って相手機関の自主的な改善が促されるよう働きかける仕事をしています。

なお、毎月第3木曜日が当町における相談日(午後1時～午後4時)で、開発センター1階のふれあいルームで受け付けています。行政相談委員に関するお問い合わせは、総務省山形行政評価事務所(☎023-632-3113)まで。お気軽にどうぞ。

白田昭吉さん(大谷三)・菊地徳一さん(栗木沢)に 厚生労働大臣表彰



菊地徳一さん(左)と白田昭吉さん

民生児童委員として長くお務めになられた白田昭吉さん(大谷三)と菊地徳一さん(栗木沢)の両名に、厚生労働大臣から表彰状が贈られました。平成元年12月から15年の長きに渡り、地域社会の福祉の増進に貢献された功績が讃えられての表彰です。役場町長室で4月13日、伝達式が行われました。

どちらかという長い15年だったと振り返るお二人。「予想もしていなかった表彰なのでとても嬉しい。みなさんのおかげです。ありがとうございました」。お二人は感謝の意も含め、笑顔で語ってくれました。

町長歳時記 (1)

その時々を思いを記し、町の皆さんとの想いの架け橋になればとの願いを込め、今回からこの「町長歳時記」を掲載させていただきます。

さて、五月になり、まちの様子も一気に活動的な空気に満ちてきました。春祭りに躍動する人々の姿。桃源郷を思わせる山々の彩り。夜空を包む蛙の鳴き声。ゴーツと地を這うつな、勇壮たる最上川の響き。生命の息づく春。

雪解けの水が沢を下り、朝日川に流れ、大河最上川に合流し、まるで生き物のように雄々しく、生命を与え賜うこの大自然の営みを見るにつけ、かの鴨長明(万丈記)の言う「ゆく河の流れは絶えずして、しかもこの水にあらず」の言葉が思い出されます。

人々の生活が時代を超えて息づいていく町。この想いを、いかに自分たちの子・孫に伝えていくかを、改めて考えさせられているこの頃です。



浮嶋稲荷神社例大祭(5月5日)

まちの話題



豊龍祭前夜祭(5月2日)

①第51回山形県縦断駅伝競走大会

熱き思いをタスキに込めて…



最長区間を力走する海野選手



独走で首位を走る櫻井選手

春の出羽路に健脚を競う第51回県駅伝が、4月27日から3日間の日程で開催されました。

寒河江西村山チームとして当町から出場した選手は3人。今年成人式を迎えた海野裕明選手(長沼)は、全区間を通して最も長い第8区「立川～古口(18.8km)」と第15区「東根～天童(8.7km)」を担当。2本目は区間4位の力走を見せました。2日目のスタート第11区「新庄～舟形(9.5km)」を首位でタスキリレーしたのは櫻井豊選手(大谷五)。勢いに乗ったチームはこの日4位で長井にゴール。総合でも4位に浮上しました。長岡輝喜選手(太郎一)は、第3区「黒森～湯野浜(10.9km)」と地元の第19区「朝日～白鷹(16.2km)」を力走。気温がみるみる上昇する厳しい条件の中での力走となりました。総合順位は、昨年の大会と同じ7位でした。

②町フォトコンテスト表彰式(創遊館)



最優秀作品「廃校の夏休み」

厳選された四季折々の町を表現

「今残したいふるさとの宝」をテーマにした朝日町フォトコンテストの表彰式が4月13日、創遊館ギャラリーで開催されました。

昨年4月から1年間で応募があったのは、フォト愛好者ら57人から全部で177点。厳正なる審査で最優秀賞に輝いたのは、旧大暮山分校で開催される紙ひこうき大会の1コマをとらえた作品「廃校の夏休み」。撮影者の沼沢麗子さん(山形市)に、賞状並びに賞金、記念品などが贈られました。

沼沢さんは「木造校舎が懐かしく、シャボン玉もきれいに撮れた。ひまわりで季節感を表現できたのもポイント。自分の好きな写真でこのような賞をいただき、たいへん嬉しいです」と、受賞の喜びを語ってくれました。

入賞作品18点は、4月8日から17日間創遊館ギャラリーにて展示されました。



表彰を受ける沼沢さん(左)

③平成17年成人式(創遊館)



晴れやかに162人が大人の仲間入り

好天に恵まれた4月29日、朝日町の成人式が創遊館ホールで開催されました。今年の対象者は、男性83人、女性79人の合計162人で、大型連休を利用して帰省した人も多く全体の70.4%に当たる114人が出席しました。

まぶしいほどの衣装を身にまとった新成人たち。友人との久方ぶりの再会に胸を躍らせ写真を撮ったり、中学生の時にお世話になった先生方と当時のことを懐かしんだり様々。

この時期にしては珍しく桜の花が満開だった今年。まるでこの日を祝福しているかのようにでした。

④おはなし会「ぶなの実」の30周年記念誌が完成



『ちいさなたねをまいたら…』

絵本をとおして、子どもたちに心を育んでもらおうと、昭和49年「宮宿公民館文庫」を開設以来、30年間の活動を記念誌にまとめたおはなし会「ぶなの実(西澤敬子代表)」。

今まで50人ものメンバーが関わり、それぞれに語る楽しかった思い出や、会員の手作りである人形劇、紙芝居、パネルシアター等を掲載。その作品の数々には目を見張る物があり、読んでみるとたまたま箱を開けたような感動を味わうことができます。

⑤町商工会女性部が福祉マップを作成 町内全戸に配布



ビジネスチャンス福祉の分野から

商工会女性部の広域連携事業で村山地区(14市町)の福祉マップが完成。公共機関等に配布したものの、できるだけ多くの人から活用してもらうためにと、町商工会女性部(阿部玲子部長)が独自の活動として「寒河江西村山管内の福祉マップ」を作成。町内の全戸に配布しました。

阿部会長は「これからの地域活性化の基本となるのは、互いに助け合うこと。これを一つのきっかけに、町を元気づける活動を興していきたい」と抱負を語ってくれました。



みんな の ひろば

二十歳の誓い

この二十年、様々なことがあったと思いますが、これまでたくさんの方々の教えや助けがあり、今の自分があるのです。両親や先生方、地域の人々、友だちみんな、どうもありがとうございます。そして、これからも末永く見守っていただけたら幸いです。

さて、私たちはこの成人式を境に、大人の一員として社会的にも認められるようになりました。しかし、まだまだ未熟です。十代から二十代に変わっても、何の変化もない日々かもしれません。その未熟さゆえ、ときには大人としての扱いから逃げ出したくなることもあるはずです。でも、逃げてばかり



町民憲章を朗読する新成人（実行委員）たち

成人式実行委員会

委員長 鈴木 俊吾さん（助ノ巻）



りはいられません。辛いことや苦しいことがあっても、目の前にある現実を真剣に見つめていく行動によって、一歩一歩成長し真の大人になっていくのだと思います。

これから先、どんなことが待ちかまえているのか。誰にも分かりません。しかし、人生は一度きりです。だからこそ、自分を信じ責任と自覚を持って、これからの人生を確実なものとして歩んでいく必要があるのです。

途中、辛いときや悩むときがあるかもしれません。そんなときは、両親、先生、そして小学校・中学校から一緒に学び助け合ってきた仲間がいることを忘れません。そんな仲間をこれからもずっと大切にしていきたいです。

今◆輝いて

各種大会の成績

（○内数字は順位）

■第27回朝日町長杯争奪剣道錬成大会

（四月二十九日／町民体育館及び朝日中体育館）

▽小学校男子の部①養勇館

青空剣道教室（山形市）

▽小学校女子の部①宮宿剣道スポーツ少年団

▽中学校男子の部①遊佐中（遊佐町）

▽中学校女子の部①山形第三中（山形市）③朝日中A（朝日町）



選手宣誓をする富樫龍優くん（宮宿剣道スポーツ少年団）

■豊龍神社祭典奉納柔道大会

（五月三日／町民体育館）

▽小学生の部①高橋道場A（山形市）③朝日町柔道

スポーツ少年団

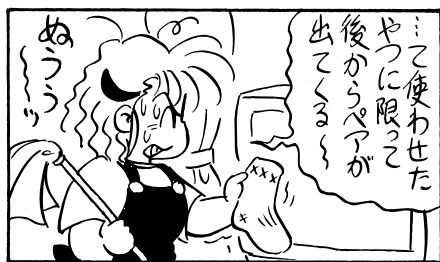
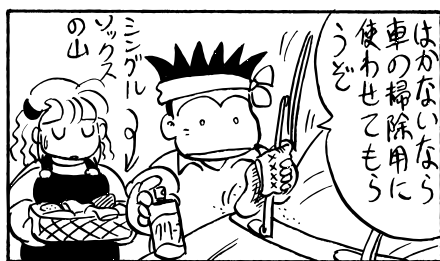
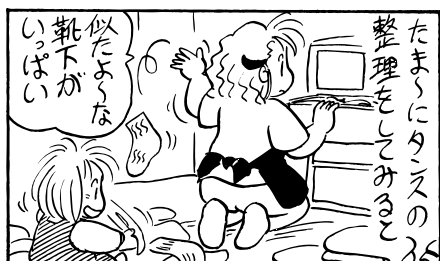
▽中学女子の部①仙台練心会（宮城県亘理町）③朝

日中A（朝日町）

▽中学男子の部①高橋道場

（山形市）③朝日中A

（朝日町）



今月の新刊

おすすめ本！

震度7-新潟中越地震を忘れない-



古道具中野商店
「好きをつきつめると、からっぽの世界に
いつてしまうんだな 学生街の小さな店に集
う人たち。何ともしじつたい恋。世代を超え
た友情。どこかあやしい常連たち…。なつか
しさと幸福感に満ちた長編小説。」
川上 弘美 著

古道具中野商店

川上 弘美 著

ビトウィン

川上 健一 著

釣に日曜大工。お仕事は後回しで、楽しい
こと最優先！底抜けに愉快な仲間たち。ユニ
クな奥さん。可愛い一人娘ツギちゃん。素敵
な人々と繰り広げる「翼はいつまでも」の著
者のとびきり楽しいスローライフエッセー。
年来未解決事件をとく糸口をつかみ…。
さる老人が交番に駆け込んだのをきつ
かけに、何故だかお手柄続きの勝組新米巡査・
高木聖大。等々力地区のパワフルな老人七人
衆に可愛がられ、所轄を駆け回るうち、十数
年未解決事件をとく糸口をつかみ…。

駆けこみ交番

乃南 アサ 著

二〇〇四年一月二十三日十七時五十六分。
自然豊かな川口町は観測史上初の震度7に揺
さぶられた。地震が奪ったものとは…。新潟
県中越地震で被災した著者が語る地震体験。

震度7-新潟県中越地震を忘れない-
松岡 達英 著



元
堀 町

麻衣 慎
さん さん

出会いは高校時代。慎さんは幼なじみの紹介で、麻衣さんも友人に誘われ参加した集まりがきっかけでした。二人とも「会った瞬間ピピッときた」と、この出会いに運命を感じたそうです。

「いつも一緒にいたいという気持ちが強くて、出会った頃は私の方がべったりでした」と慎さんを見つめる麻衣さん。調理師の免許を持つ慎さんが、麻衣さんの誕生日などにケーキを作ってくれたことは、とてもうれしかった思い出の一つ。こうした慎さんの優しいところに自然と惹かれていったそうです。慎さんは、麻衣さんの明るく元気なところに強く惹かれたそうです。ドライブ等のデートを重ね、ゆっくりと大切に育んできた二人の関係を、照れながら語ってくれました。

「時に喧嘩をすることもあられるけれど飽きない。結婚するならこの人」という思いを、お互いにもっていたと話すお二人。笑顔のあふれる家庭を築いていきたいそうです。

お二人の指には、高校時代に一緒に買ったペアリングが今も輝き、これからもずっと続いていく二人を強くつないでいるようでした。

みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。
町に対する意見や要望、提案みなさんの周りでの出来事や話題、日ごろ
感じていること、イラスト、質問などお待ちしております。

- あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場 政策推進課 地域情報係
(電話：67-2112 ファックス：67-2117)
- Eメール／kikaku@town.asahi.yamagata.jp
- URL／http://www.town.asahi.yamagata.jp

町民の声

好き嫌いがなくなる孫 先生方に感謝します

四 月から、保育園でお世話にな
っている孫がいます。毎日
ありがとうございます。

さて孫には、ほうれん草やト
マトなど、きらいな食べ物が
いろいろあります。ですが、ミニ
トマトなどにそれをまた小さく
切ってくださるというそんな些
細なことが、「食べなぐちゃ！」
と思う孫にとっては、たいへん
嬉しいことなのかもしれません。
家に帰ってくると「今日はほ
うれん草、食べてきたよ」と、
得意げに話してくれま
す。家ではわがままで、なかなか
言うことを聞いてくれません。
先生方に心から感謝します。

【園児を孫に持つ祖母】



常 日頃から保育園には、有形・
無形のご協力をいただきま

あさひまちの宝箱 vol.16

日本の棚田100選「榎平」

くぬぎだいら

平成11年農林水産大臣が、棚
田の持つ多面性を評価し、その
維持保全を図る目的で全国から
募集。厳しい条件をクリアし、
同大臣から認定を受けたのが榎
平の棚田です。

榎平の棚田の面積は10.5ヘク
タール、108枚からなっていま

す。東側には最上川の悠々とした流れが眼下100mに見られ、北側にはひめさゆ
りの群生地で見られる一本松公園があります。また、最上川の五百川橋や周辺
の山々、能中集落と調和のとれた風景は日本の農村の原風景そのものです。

榎平は以前は桑園でした。当時の日本は食糧難で、国では食料増産を国策と
していました。そこで昭和16年、榎平と元能中の畑地を開墾する計画が起こり、
三中地区土地改良区をつくり開田工事に入りました。現在のような建設機械は
ないため工事は大変でした。また、当時の国策でもあり大規模な工事だったの
で、小学生も工事を手伝いました。

水は八ツ沼の西側奥を流れる油子沢から取水し、トンネル2本と水路により
いったん春日沼に水をため、そこから榎平まで墜道で水を通し水田にしました。
現在は水量の安定を図るため、最上川からも取水しています。

(宮本 建一 2003)

※あさひまち宝さがし実行委員会では、ひきつづき「まちの宝」を募集しています。広報紙
の折り込みはがきを利用しご応募ください。

あさひまち宝さがし実行委員会

保育料の格差 ありすぎるのでは？

保

育料のことについてですが、
保育園なので「所得割」に
なっていると思いますが、あま
りにも格差がありすぎるのでは

してありがとうございます。
また、家族みんなで子育てに
参加していられしやるなんて、
本当に素晴らしいご家庭ですね。
家族の団らんが目に見えるよう
で、微笑ましい限りです。
さて給食には、栄養士、調理
師、そして担任とが連携を持っ

て取り組んでおり、子どもたち
に「楽しく・美味しく・栄養の
バランス良く」をモットーに、
少しずつでも慣れてもらえるよ
う、日々努力しています。いろ
いろな食材経験を積むことで、
少しずつ食べられるようになり
ますよ。

【保育園】



すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
栗木沢	志藤 大地	男	景 洋・千 春
新宿	佐藤 慧典	男	亮 二・恵理香
夏草	安藤 咲那	女	晃 一・千 春
助ノ巻	鈴木 聖人	男	正 徳・久美子
大谷六	堀 大樹	男	正 樹・和 子



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
夏草	大高 利作	本人
送橋	渡邊 チヨ子	吉 助
大滝	柴田 吉蔵	本人
舟渡	堀 才子	良 一
大谷一	堀 久	本人
大町	菅井 くにゑ	時 雄
大谷六	白田 しづゑ	幸 輝
大隅	鈴木 きく	啓 一
真中	堀 しずゑ	治郎吉
中沢	五十嵐 藤雄	二三雄
高田	高山 絹子	佐竹教一

掲載を希望しない方は、届出の際にお申し付けください。

人口と世帯数

●平成17年4月30日現在
人 口 8,877人(減24人)
男 4,399人(減7人)
女 4,478人(減17人)
世帯数 2,564戸(減2戸)
()内 前月比



【健康福祉課】

さて、保育料についても同様に捉えておりますが、所得割による保育料の格差については、以前からご指摘がありますので、それらを踏まえて検討していきたいと考えています。

まずまず厳しい行財政運営が予想されていることから、それ相応のご負担をこれからも町民のみなさんにお願ひしていかなくてはならなくなるようです。まずもって、その点をご理解ください。

政運営を円滑に進めていくために、町民のみなさんからご負担をお願いしている「負担金」や「手数料」などがありますが、今年一年をかけて、これらの見直しが行われることになっていきます。

朝日町には、保育園しかないのに…。選ぶこともできないのに…。保育料の格差があまりにもありすぎて、納得できません。

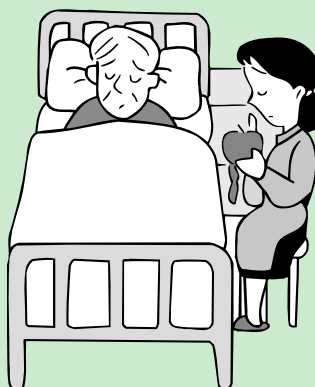
きょうの健康 あしたの健康

シリーズ 介護予防 其の1

介護保険制度が実施されて4年が経過した時点で、要支援、要介護1の認定者が2倍に増加しました。表1に示したように、高齢者の死因の背景には生活習慣病の存在が推測できるのに対し、要介護状態になる要因の2位、3位は運動や栄養状態の管理不足が推測されます。適切な予防をすれば寝たきり状態などを防止できる可能性が示されているといつてよいでしょう。

表1 高齢者の死因と要介護状態になる要因

	高齢者の死因	要介護状態になる要因
1位	ガン(29%)	脳血管疾患(26%)
2位	心疾患(16%)	高齢による衰弱(17%)
3位	脳血管疾患(15%)	転倒骨折(12%)



ところで、高齢者全体に占める介護保険受給者の割合は、どれ位なのでしょう。

朝日町15.1%(県内18位)

県内1位は鶴岡市の17%です。つまり、ほとんどの方は元気に活躍されているということになります。

しかし、元気に活動されている方の多くが要介護予備群であり、要介護要因の2位、3位の割合を増加させる可能性をもっています。

そこで、元気に快適な人生を送ってもらうために、運動指導やフットケア、栄養指導、口腔衛生などの支援が重要になっています。このコーナーでは、シリーズで介護予防について紹介していきたいと思ひます。次号をお楽しみに。

役場健康福祉課介護支援係 ☎67-2116

さがえ西村山農業協同組合主催

第4回「つるり」里芋体験農業・記録競技大会



銀
賞

和合小二年
菅井里咲さん



わたしたちは、ながおか校長先生といっしょに、はたけに「つるり」をそだてました。だんだんと葉っぱが大きく成長していくのがうれしかったです。また、葉っぱの上で、きれいな水しゅう玉みたいにくるくるまわっているのが、とてもおもしろくてうれしかったです。しゅうかくのとき、『大きなかぶ』のようにみんなで「よいしょ、よいしょ、どっこいしょ」といってめぎました。たいへんだったけど、いもがたくさんとれてうれしかったです。「つるり」の絵がにゅうせんして、びっくりしました。ほめられました。

春 夏 秋 冬

編集後記

山里の素朴な中に優雅さを誇る「浮嶋稲荷神社例大祭」が、ここ大沼の地にあること。町民として、何となく嬉しく感じる。いまだ沿道に雪が残る五月五日。五年前に復活した伝統の浮島雅楽が、新緑の中に染み入るように響き渡っていた。その音色に合わせて、村の中をゆっくりと進む行列の一行。あたかもこの空間だけが、平安時代にタイムスリップしたかのような不思議な気持ちにさえる。

「昨年のニュースで初めて知りました。その祭りが、今日開催されることを今日知り、急い

で車を走らせて来ました」と語るのは矢田目敏弘さん（山形市）。初めて巫女を務めた小林郁さんが「いいですね。これからもずっと続けていきたいです」と話す一方で「来年は就職の予定。今年が最後かな」と残念そうに話すのは、今回が五回目となる東海林さゆりさん。村の祭りを誇りに思う。こんな若者たちの存在こそが、祭りの魅力をより一層引き立たせているのかもしれない。大沼にも春の訪れだ。

新緑に

まぶしく輝く 雫かな

（はやけん）

